



『まちづくりの哲学-都市計画が語らなかつた「場所」と「世界」』

発刊記念パーティー開催

2016年7月11日に、代官山ステキなまちづくり協議会が企画・編集をおこなった書籍『まちづくりの哲学-都市計画が語らなかつた「場所」と「世界」』（ミネルヴァ書房/2,400円+税）の発刊を記念して、ささやかなパーティをヒルサイドバンケットで開催いたしました。

当日は、代スキ会会員に加え、代スキ会の活動を支援しご協力いただいている方々もお招きし、約50名が出席されました。

このたび発刊となりました書籍は、2011年～12年に5回にわたり代スキ会が開催したセミナー「まちづくりの哲学 -場所・幸福・関係性-」でバラバラに示された「よいまちとは何か」「どうすればよいまちは作れるのか」「なぜよいまちを求めるのか」という問いに対する答えのヒントを、一つの意味あるつながりししていただけるよう、2014年にあらためて都市計画家の蓑原敬先生と社会学者の宮台真司先生に対談していただいた内容をまとめたものです。本書では、まちづくりのガバナンスや幸福についての問題が包括的に語られ、「まちづくり」が幸せを追求する一つの道筋となり得ると期待を裏付けるものとなっています。

パーティでは、蓑原、宮台両先生からご挨拶として本書発刊にあたっての想いを語っていただき、対談の司会と本書の企画・編集を担当した代スキ会・野口からの挨拶の後、出席者の方々にご歓談をお楽しみいただき、これからのまちづくりに向けた実り多き交流の機会とすることができました。



刊行記念トークライブ開催

「代官山から発信するまちづくりの希望とは」

2016年7月28日(木) 蔦屋書店1号館2階イベントスペースにて、書籍をご予約・ご購入頂いた方に向けて著者である蓑原先生と宮台先生のトーク&サイン会が開催されました。

司会・進行は、代スキ会・野口が担当し、代官山のまちづくりを中心に「まち」と我々の幸福について、蓑原先生と、宮台先生による対談が行われました。

お客さまの中には、宮台先生の生徒の方や代官山ステキなまちづくり協議会の方もおられ、みなさん熱心に耳を傾けておられました。

対談では、本書にある宮台先生の幼少期の共同体感覚の深い層にある〈共同身体性〉の記憶のお話からはじまり、「京都/ローラースケートで町中を走り回り『まちを身体化』できる体験」、「三鷹/言葉の分水嶺」、「麻布/人の性格と方向の好み結び付いている感覚的地理的体験」、「渋谷/人から感じるまちのオーラと微熱感」をお話いただきました。

蓑原先生は、「銀座/まちのコミュニカル(共同的)な人間関係のなかで育ってきた感覚」、「幕張/まちづくりの経験や千葉ロッテマリーンズ優勝時のまちの人たちによる紙吹雪清掃と連帯感」に対するエピソードをお聞きました。

対談後に、お二人に対する質問のお時間があり5名程のお客さまがご質問されておりました。また、その後サイン会も行われました。

